

《 コース名 》

講座名「最新がん治療」

1 趣 旨

がんは、2人に1人はかかると言われるほど身近な病気になっており、国民の3大死因のトップになっています。こうした背景を踏まえ、がんにならないための生活や、がんの最先端治療、そして食生活や運動を通しての予防等を市民に向けて発信します。

2 学習方法

前期 講義

3 曜日・時間

土曜日 午前10時 ～ 正午

4 講座コーディネーター

5 プログラム（テーマは25字以内、内容は60字以内が目安です）

| テーマ | 内 容 |
|--------------------------------|--|
| 知って安心！ ～がんの基礎知識～ | 主な死因別死亡率、男性・女性の死亡率の高いガン、がん細胞のメカニズムなど |
| 「がん」の予防と早期発見のポイント ～変わるがん医療～ | がん対策基本法や国の第3期がん対策推進基本計画、新潟市の予防等の取り組み、早期発見のポイントなど |
| 最新①「肺がん治療」 | 具体的な症例を基に、治療方法・効果の紹介など |
| 最新②「大腸がん治療」 | 〃 |
| 最新③「放射線治療」 ～切らずに治す～ | 〃 |
| 最新④「薬で治すがん治療」 ～がん細胞を狙い撃ち！～ | がん治療で使用される主な抗がん剤、免疫療法、分子標的薬などの効果、副作用など |
| 「緩和ケア」とは | 痛みを和らげる方法や仕組みなど |
| 「がん」と食生活について | バランスの良い食事の効果的な食べ方や免疫力を上げるためのメニュー作りなど |
| 毎日の運動習慣が大切！ ～「がん」リスク減少か | 運動習慣が「がん予防」や健康にもたらす効果など |
| 「がん」と明るく生きる ～仕事、日常生活を楽しむ～ | 医学が進歩し、5年生存率が高くなり、死に直結するものから長期間付き合い、抱えていくものへと変化 |

※ ご記入の際は、語尾を「です。ます。」調で統一し、受講者主体の表現でご記入ください。

生命・自然科学コース

「最新のがん対策」

1 趣 旨

我が国において、がんは、昭和 56 (1981) 年より死因の第 1 位であり、平成 27 (2015) 年には、年間約 37 万人が亡くなり、生涯のうちに、約 2 人に 1 人が罹患すると推計されています。がんは国民の生命と健康にとって重大な問題であり、平成 29 年 10 月に閣議決定された第 3 期がん対策推進基本計画では、「がん患者を含めた国民が、がんを知り、がんの克服を目指す」ことを目標としています。最新のがん対策について一緒に考えていきましょう。

2 学習方法

前期 講義 後期なし

3 希望曜日・時間

土曜日 午前 10 時 ～ 午前 12 時

4 講座コーディネーター

新潟県立がんセンター新潟病院 院長 佐藤信昭

5 プログラム・指導講師

| 回 | 月日 | テーマ | 内 容 | 講 師 |
|----|------|--------------------------------|---|--|
| 1 | 6/9 | 知って安心！ ～がんの基礎知識～ | 主な死因別死亡率，男性・女性の死亡率の高いガン、がん細胞のメカニズムなどについて学びます。 | 新潟県立がんセンター 新潟病院 院長 佐藤信昭 |
| 2 | 6/16 | 「がん検診」のポイント ～科学的根拠に基づくがん検診～ | 科学的根拠に基づくがん検診の推進や受診率向上を目指した対策について学びます。 | 国立がん研究センター社会と健康研究センター 検診研究部 室長 濱嶋ちさと |
| 3 | 6/23 | 最新の肺がん診療 | 肺がんの疫学、検診、治療について、具体的な症例による治療方法・効果について学びます。 | 新潟県立がんセンター 新潟病院 呼吸器内科 臨床部長 田中洋史 |
| 4 | 6/30 | 最新の大腸がん診療 -1 | 大腸がんの疫学、検診、内視鏡的治療について学びます。 | 新潟県立がんセンター 新潟病院 消化器内科 臨床部長 小林正明 |
| | | 最新の大腸がん診療 -2 | 大腸がんの外科治療について、具体的な症例から治療方法・効果について学びます。 | 新潟県立がんセンター 新潟病院 消化器外科部長 瀧井康公 |
| 5 | 7/7 | 最新の放射線治療 ～切らずに治す～ | 具体的な症例を交えながら、最新の放射線治療の治療方法・効果について学びます。 | 新潟大学医歯学総合病院 放射線治療科 講師 海津元樹 |
| 6 | 7/14 | 「薬で治すがん治療」 | がん治療で使用される主な抗がん剤、免疫療法、分子標的薬などの効果、副作用について学びます。 | 新潟大学大学院医歯学総合研究科 腫瘍内科 教授 西條康夫 |
| 7 | 7/21 | 「緩和ケア」 | 病気の種類や状態（病期）とは関係なく、様々な「つらさ」が私達を苦しめます。「つらさ」を軽くするお手伝いをする緩和ケアについて学びます。 | 新潟県立がんセンター 新潟病院 緩和ケア科部長 本間英之 |
| 8 | 8/4 | 「がん」と食生活について | 「がん」と食生活のかかわりについて、国立がん研究センターの研究をもとに学んでいきます。 | 国立がん研究センター QOL 研究グループ 健康支援研究部長 松岡 豊 |
| 9 | 8/18 | がんサバイバーシップ | がんの診断や治療後の本人、家族が充実した社会生活をおくるために必要なことについて学びます。 | 国立がん研究センター がんサバイバーシップ 支援部 部長 高橋 都 |
| 10 | 9/15 | 講座のまとめ | これまで学んできた様々な「がん対策」についてまとめます。 | 新潟県立がんセンター 新潟病院 院長 佐藤信昭 |